

1. 業績推移 および 2016年3月期業績予想

(百万円)

	2013年3月期(第22期) 連結通期実績	2014年3月期(第23期) 連結通期実績	2015年3月期(第24期) 連結通期実績	2016年3月期(第25期) 連結通期予想
売上高	40,175	43,591	35,494	37,400
営業利益	△ 1,176	△ 562	409	1,650
経常利益	△ 1,235	△ 641	348	1,500
当期純利益	△ 1,480	△ 11,093	549	1,400

2. セグメント別 売上高 および セグメント利益

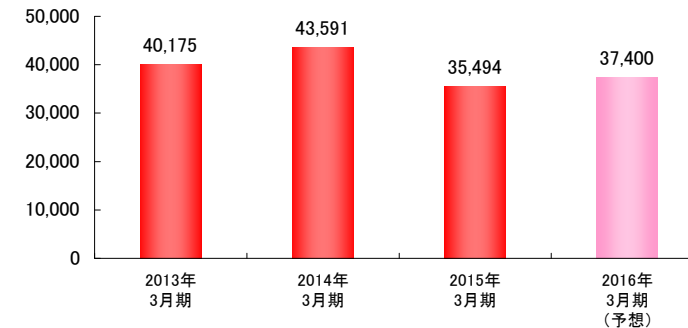
(百万円)

		2013年3月期(第22期) 連結通期実績	2014年3月期(第23期) 連結通期実績	2015年3月期(第24期) 連結通期実績	2016年3月期(第25期) 連結通期予想
売上高	鉄鋼建設資材事業	24,961	26,242	19,860	20,030
	農業資材事業	12,729	14,628	13,018	14,760
	環境ソリューション事業	695	723	642	660
	砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	1,800	1,994	1,938	1,900
	その他	374	223	151	160
	調整額	△ 385	△ 221	△ 116	△ 110
計		40,175	43,591	35,494	37,400
セグメント利益	鉄鋼建設資材事業	△ 1,045	△ 1,210	65	1,250
	農業資材事業	881	1,532	980	990
	環境ソリューション事業	1	19	36	20
	砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	77	146	151	150
	その他	4	△ 30	△ 20	0
	調整額	△ 1,095	△ 1,018	△ 804	△ 760
計		△ 1,176	△ 562	409	1,650

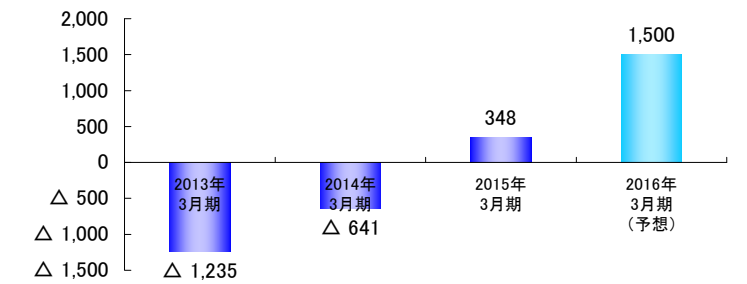
3. 鉄鋼建設資材事業 および 農業資材事業の実績

		単位	2013年3月期(第22期) 連結通期実績	2014年3月期(第23期) 連結通期実績	2015年3月期(第24期) 連結通期実績	2016年3月期(第25期) 連結通期予想
鉄鋼建設資材	鋼材販売数量 計	千トン	391	409	286	330
	異形棒鋼	千トン	288	303	233	264
	構造用鋼	千トン	103	107	53	66
	鋼材販売単価	千円/トン	61	62	64	59
	スクラップ払出単価	千円/トン	29	35	30	25
メタルスプレッド	千円/トン	32	27	34	34	
農業資材	肥料販売数量 計	千トン	112	127	108	122
	内有機質肥料	千トン	73	80	68	77
	肥料販売単価	千円/トン	81	84	85	87

売上高



経常利益



4. 2015年3月期 業績分析

鉄鋼建設資材事業	減収増益	・第1四半期の製鋼工場休止により、鋼材生産数量に制限があり、販売数量減少 ・鉄スクラップの値下がり、販売価格の維持により、販売値差(メタルスプレッド)拡大 ・減価償却費の大幅削減(約11億円)
農業資材事業	肥料事業	・消費税増税前倒し出荷、農家の雪害、米価大幅下落等により販売数量減少 ・エコレット販売拡大
	園芸事業	・取引先ホームセンター店舗数拡大(3,425店舗 対前年+476店舗)により販売数量増加 ・物流拠点構築により物流コスト低減
	種苗事業	・「プリメラ」(カボチャ)販売開始(2月)、「アニモ」(トマト)の改良品種試作拡大
	牧草事業	・販売エリア拡大
環境ソリューション事業	減収増益	・放射能分析業務は堅調に推移、水質・土壌の分析業務減少 ・外注費等コスト削減
砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	減収増益	・工事着工遅延等により販売数量減少 ・営業努力により販売価格値上

5. 今後の取り組み

鉄鋼建設資材事業	営業強化 コスト削減	・早い段階での物件情報収集 - 高強度製品、太経製品の販売促進、大型土木案件の積極的受注 ・価格優先販売による販売価格維持、適正なメタルスプレッドの確保 ・歩留まり・生産性向上、エネルギー原単位削減等
農業資材事業	肥料事業	数量拡大 競争力向上 ・エコレット販売エリア拡大、飼料用米向け肥料の販売促進 ・自社開発原料の使用比率増大により、品質及び価格競争力向上
	園芸事業	提案型営業 豊富なラインナップを強みに、潜在需要を見据えた企画の提案により販売拡大
	種苗事業	新品種投入 「プリメラ」及び「アニモ」の販売エリア拡大、アニモ改良品種及びキュウリの試作エリア拡大
	牧草事業	新商品拡販 発酵混合粗飼料の本格販売
環境ソリューション事業	収益基盤構築	・水質・土壌・大気分析、放射能分析の受注拡大、 ・外注費用の更なる圧縮
砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業	値上・開発	・販売価格の値上 ・将来に向けた砕石区域の開発